

第9回学校水泳研究会

幼児と水の関わり方

鳴門教育大学大学院
幼年発達支援コース
藤本 真也

幼稚園学習指導要領より

健康 言葉
人間関係 表現
環境

体育全般に対する記述はない

小学校学習指導要領 体育より

1～2年生 ・水遊び	3～4年生 ・浮く ・泳ぐ運動	5～6年生 ・水泳
---------------	-----------------------	--------------

水なれ・水遊びの期間が長い

前指導要領3～4
盛り込まれていた。
・クロール
・平泳ぎ

幼稚園からの、水泳指導について

水泳の楽しさを教える

幼稚園

連携

スイミングスクール

幼稚園とスイミングスクールの連携例

神山幼稚園の例

水泳指導について

- ・指導は、年度の前半と後半でカリキュラムが変わる。
- ・前半はクラス単位で、後半は泳力別。
- ・前半の目標は、水に慣れる。怖がらない。

泳力別のカリキュラム

上級クラス

5～6年生と同じ内容

板キック
↓
グライドキック
↓
面かぶりキック
↓
クロール

中級クラス

- ・板キックを使って、泳げるようにする。

3～4年生と同じ内容

初級クラス

- ・顔を無理なくつけるといった、大まかな練習

1～2年生と同じ内容

指導にあたって

幼稚園

- ・子どもたちを泳力に分けて指導をしていることから、指導にあたって子どもたちの自信をなくさないように配慮して取り組む。

スイミングスクール

- ・卒園後、継続して通うことを希望するならば、引き続いて入会できる。

メリット

- ・正しい姿勢や、呼吸法を覚えられる。
- ・泳ぎの基礎が学べ、小学校での水泳の糧になるとされる。
- ・初級クラスの子どもたちが、小学校に入った後泳げるようになったと言われている。
- ・小学校上がった時、水への恐怖心が軽減した。

連携した成果なのでは！！

小学校学習指導要領 体育より

1～2年生	3～4年生	5～6年生
-------	-------	-------

- ・水遊び
- ・浮く
- ・泳ぐ運動
- ・水泳

水なれ・水遊びの期間が長い

↓

小学校水泳(泳ぐ)としての授業が、早く行われてもよいのではないか。

幼稚園

スイミングスクールとの、連携ができなくても。

- ・小学校上がった時、水への恐怖心が軽減した。
- ・初級クラスの子どもたちが、小学校に入った後泳げるようになったと言われている。

水遊びを、しっかりとする。

まとめ

幼稚園から、水泳の指導(水遊び)を導入

↓

小学校入学後も、スムーズに水泳の授業が展開できる

↓

← スイミングスクールとの連携

徳島県の水泳人口の増加にも繋がるのでは！？